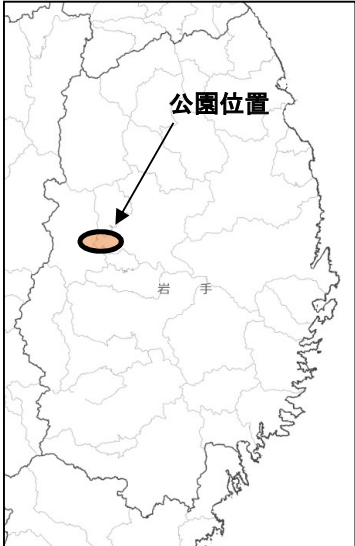
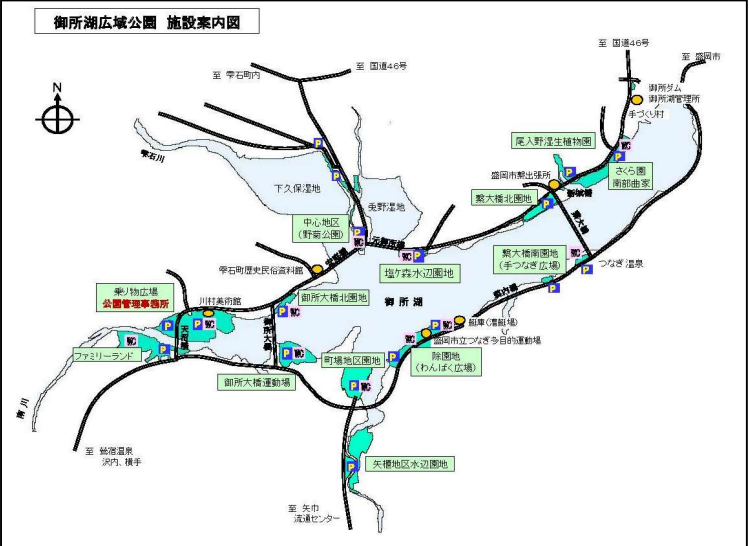


事業名	広域公園整備事業		補助・単独	担当部課名	県土整備部 都市計画課			
路線名等	イワテケンリツゴシヨコウイキコウエン 岩手県立御所湖広域公園	地区名	イワテケンズクシチョウニシアニワ 岩手県雫石町西安庭地内ほか	市町村	盛岡市・雫石町			
事業概要	〔事業根拠法令等：都市公園法、県立都市公園条例〕							
	<p>(1) 事業目的</p> <p>御所湖広域公園は、御所ダムによって作られた湖面とその周辺を活用し、盛岡地方生活圏におけるレクリエーション需要への対応と、環境保全及び景観の調和等を目的に整備が進められてきたものである。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>【都市計画決定面積】 311.6ha（うち湖面A=133.5ha、河川敷A=106.7ha、民地等A=71.4ha）                  【事業認可面積】 172.3ha（都市計画決定区域のうち、主に陸地部分（河川敷、民地等））                  【供用面積】 96.8ha                  （主な施設）ファミリーランド（ジャブジャブ池、パターゴルフ場、芝生広場）、乗り物広場（各種乗り物等）、町場地区園地（花壇、イベント広場、サンタリーハウス）、御所大橋運動場（野球場、テニスコート）、除園地（多目的広場等）</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>【県総合計画(H11～H17) 整備目標値】                  県全域 都市計画区域内人口 1 人当たりの都市公園面積 12.5m<sup>2</sup>/人</p> <p>(4) これまでの評価経緯</p> <p>平成15年度：再評価：事業継続                  平成20年度：再々評価：要検討（見直し継続）                  事業計画の変更等：事業計画の変更（スイミングセンター廃止、町場地区整備内容変更）                  政策評価委員会の答申：県の評価は妥当。付帯意見なし。</p>							
	事業着手	昭和55年	事業期間	S55～H27 最終全体事業期間 (S55～H27)（再々評価時全体計画期間） (S55～H25)（再評価時全体計画期間） //（当初全体計画期間）	用地着手	昭和56年	工事着手	昭和55年
	事業費（百万円）	当初計画 総事業費 （昭和55年） （うち用地費）	再評価時 総事業費 （平成15年） （うち用地費）	再々評価時 総事業費 （平成20年） （うち用地費）	最終 総事業費 （平成27年） （うち用地費）	財 源		
	10,400.0 (2,100.0)	10,400.0 (2,149.0)	11,000.0 (2,100.0)	11,090.5 (2,074.8)	国庫	5,581.1		
					県	5,509.4		
					他			
事業概要図								
 <p>公園位置</p>				 <p>御所湖広域公園 施設案内図</p>				

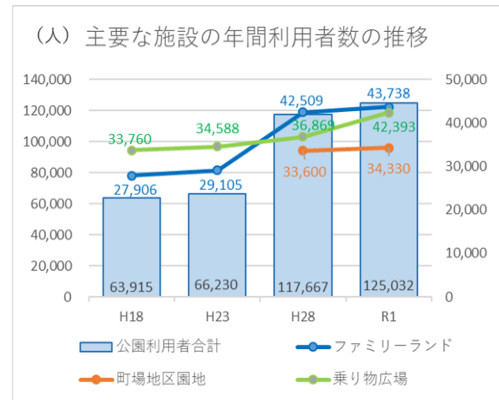
**整備効果の発現状況**

○ **都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積**

整備開始前(S55)：4.2m<sup>2</sup>/人  
 整備中(H13)：11.3m<sup>2</sup>/人  
 整備完了後(H27)：14.6m<sup>2</sup>/人  
 現在(R1)：15.9m<sup>2</sup>/人  
 ※目標値(12.5m<sup>2</sup>/人)

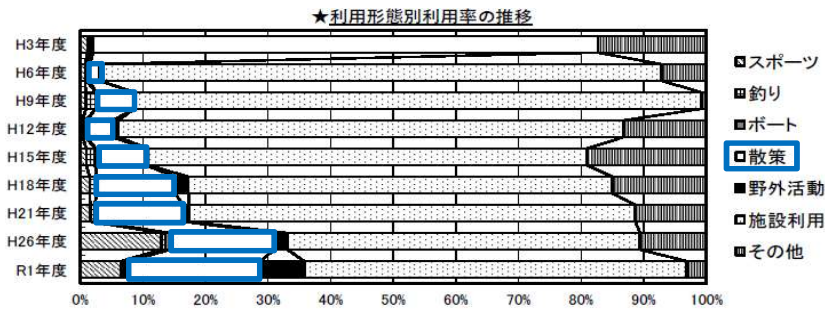
○ **年間利用者の推移**

主要な施設（乗り物広場、ファミリーランド、町場地区園地、野球場、テニスコート）の年間利用者を見ると、指定管理者制度導入開始時（H18）から現在にかけて利用者数が増加している。  
 特に全面開園後は、利用者数が大幅に増加している。



○ **御所ダム利用形態について**

ダム湖利用実態調査によると、令和元年度の年間利用者数が約75万人で、全国で2番目に多く使われているダム湖となっている。  
 利用形態別にみると、公園が全面供用となる近年にかけて、「散策」の比率が高くなってきており、ダム湖周辺を活用した本公園が活用されているのがわかる。



資料：令和元年度ダム湖利用実態調査

○ **参考事項**

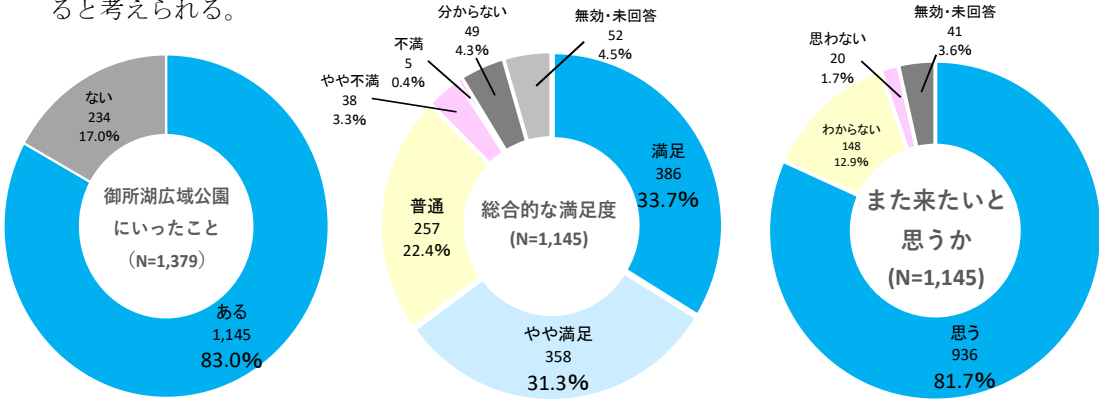
- ・乗り物広場のグラウンドゴルフ場は町内会イベント、御所大橋運動場は部活動等の大会会場として利用されている。
- ・つなぎ温泉観光協会から宿泊者への公園施設の提供やレンタサイクルの貸出、指定管理者からつなぎ温泉観光協会への花の開花情報やイベント等の提供など、公園管理者と温泉施設等の連携により、温泉宿泊者の利用がみられる。さらに年に1度、手つなぎ広場で開催される御所湖祭が定着しており、祭りの開催時期は温泉の集客にもつながっている。
- ・ホテル観察会、自然観察会、歴史探訪会等のイベントを定期的実施しており、自然的、文化的な資源の活用が行われている。また、ラベンダーの摘み取り、桜の植樹等、地元の小学生や一般住民との協働による取組を行っている。
- ・開花の時期を考慮し、公園内の花が年間を通して途切れないような様々な品種を植えている。とくに岩手県に関連のある品種にこだわっており、テレビ等のメディアでとりあげられたほか、ツアーが組まれることもあり、地域活性化につながっている。

○ **費用便益分析**

費用便益分析手法：改訂第4版大規模公園費用対効果分析手法マニュアル（H29.4、改訂H30.8）（単位：百万円）

区分	事業着手時 (基準年：S55)	再評価時 (基準年：H15)	再々評価時 (基準年：H20)	事後評価時 (基準年：R3)
費用項目	用地費			
	施設費		19,145	21,338
	維持管理費			38,847
	総費用(C)		19,145	21,338
便益項目	直接利用価値			
	間接利用価値		46,201	46,498
	総便益(B)		46,201	46,498
費用便益比(B/C)	算出していない	2.41	2.17	1.93

事業の効果等

<p>事業の 効果等</p>	<p>※費用便益が増減した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益分析マニュアル改訂（H30.8）に伴い、全体供用開始からの便益発現期間を長く評価するようになったことで、費用、便益ともに増加したこと。</li> </ul>
<p>利用者等の 意見</p>	<p>○アンケート調査結果（抜粋）</p> <p>①県民への郵送アンケート調査（R2.10.1(木)～R2.11.24(火)）：807票 ※配布数：1,990票、回収率：40.6%</p> <p>②公園利用者聞き取り調査（R2.9.20(日)実施 ※4連休）：572票 計 1,379票</p> <p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート対象者の8割が、「御所湖広域公園に行ったことがある」と答えている。</li> <li>・公園に行ったことがある人のうち、65.0%の人が公園の総合的な評価として「満足」「やや満足」と答えている。</li> <li>・「また来たいと思うか」という問いには、81.7%の人が「思う」と答えている。</li> <li>・上記より、御所湖広域公園は市民にとって満足度が高く、再訪したい公園となっていると考えられる。</li> </ul>  <p>資料：岩手県立御所湖広域公園に関するアンケート調査報告書</p>
<p>社会経済情勢等の 変化</p>	<p>(1) 事業着手時と事後評価時の社会経済情勢の変化</p> <p>「御所ダム建設事業」により、雫石川に、洪水調節や発電、盛岡市の上水道・紫波町の農業用水などを目的とした御所ダムが昭和56年度に完成した。</p> <p>関連事業として、「御所ダムレイクパーク事業」により、オープンスペースの有効利用を目的とし、御所ダム湖周辺の繋地区と天沼地区において、基盤整備やイベント等の施設整備などが行われ、平成10年度に完了した。</p> <p>「御所湖広域公園事業」は、御所ダムの周辺環境整備と多様なレクリエーション需要に対応することを目的とし、昭和55年度～平成27年度に実施した。</p> <p>事業途中の社会経済情勢の変化に対応するため、昭和57年から平成23年にかけて都市計画法に基づく事業計画を計7回変更した。レクリエーション需要の変化に対応する施設を中心とした整備計画から、環境保全の重要性等の社会情勢の変化を踏まえ、住民と合意形成を図りながら、事業計画の見直しを実施した。</p> <p>例) キャンプ場、サイクリングコース、宿泊施設 → 芝生広場等、散策路、現況保存林</p> <p>さらに、平成18年度から指定管理者制度を導入し、民間会社が指定管理者となった。</p> <p>昭和60年7月13日に開設された公園内のスイミングセンターは、ニーズの変化等により平成20年度に廃止した。</p> <p>御所湖広域公園誘致圏（盛岡市、花巻市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町）の人口は平成12年前後をピークに減少傾向に転じたが、ダム湖利用実態調査によると、年間利用者数は全国2位となっており、レクリエーション需要は依然として高い状態である。</p> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</p> <p>「御所ダム建設事業」（国土交通省） 昭和42年～昭和56年  「御所ダムレイクパーク事業」（国土交通省） 平成元年～平成10年  「岩手県立御所湖広域公園艇庫・漕艇場」（岩手県） 昭和58年9月供用開始  「盛岡手づくり村」（盛岡市） 昭和61年5月開業  「つなぎ多目的運動場」（盛岡市） 平成26年4月開園</p>

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
変  
化

(2) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

(動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分)

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分：C、D
- ・希少野生動植物の有無：有り
- ・埋蔵文化財：有り

(事業実施において環境に配慮した事項)

希少野生動植物への配慮として、現況保存林を前提とし、散策路程度の必要最小限の整備を実施。

(事業完了後の環境の変化)

公園内の緑地や湿地等は、概ね良好な自然環境を維持している。

今  
後  
の  
課  
題  
等

(事業名)					評価の概要					
事業の概要					事業効果等の検証等			改善措置の必要性	事業計画・調査のあり方の見直し	評価手法の見直し
着手年度	完了年度	当初事業費(百万円)	完成時事業費(百万円)	再評価年度	事業の効果等	利用者等の意見	社会経済情勢等の変化			
S55	H27	10,400	11,091	H15,H20	発現している	肯定的意見が多い	重大な変化なし	なし	なし	なし

(1) 当該地区についての総括的なコメント及び改善措置の必要性

①総括的なコメント

アンケート調査結果では、本公園に対する満足度が高く、再訪したいとの意見も多かった。また、ダム湖利用実態調査においても、全国のダム湖でも全国2位という屈指の利用があることがわかる。

また、本事業は、希少野生動植物への配慮や社会情勢の変化から散策路程度の必要最小限の整備を実施したことや、事業途中に地域住民の参加を得ながらその時のニーズに合わせて計画変更を行い、整備を進めたことにより、現時点で環境保全や景観の調和に関する大きな苦情等がない。

さらに、公園管理者を中心とした適切な維持管理や積極的なイベントの実施など、周辺施設との連携を図りながら地域活性化につながる取組を行っている。

現在は、新型コロナウイルス感染症による一時閉園措置の影響で年間利用者数が減っているが、公園管理者等で花壇の魅力を発信するなど、公園利用者の確保に努めている。さらに、年1回開催している「県立都市公園管理運営検討委員会」における意見を踏まえて、公園管理における課題解決に取り組んでいる。

②改善措置の必要性

全体的な満足度は高く、基本的な改善措置の必要性は低いものと考えられるが、快適性を維持するとともに、より魅力ある公園としていくため、

- ・快適性の維持：公園施設の老朽化に伴う維持管理（優先順位の検討）、適切な間伐、剪定、草刈等の実施（特に湖面際等）
- ・魅力度アップ：御所ダムとの連携等による観光資源としての活用検討、花を通じた他施設との連携

といった、維持管理面やソフト面の取組をより充実させていくことが望ましい。

(2) 今後の同種の事業計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

①今後の同種の事業計画・調査のあり方

今後とも、地域住民等と合意形成を図りながら今後の維持管理や他施設との連携を見据えた整備計画を反映させていきたい。

②事業評価手法の見直し必要性

事業評価手法の見直しの必要性はないと考えている。

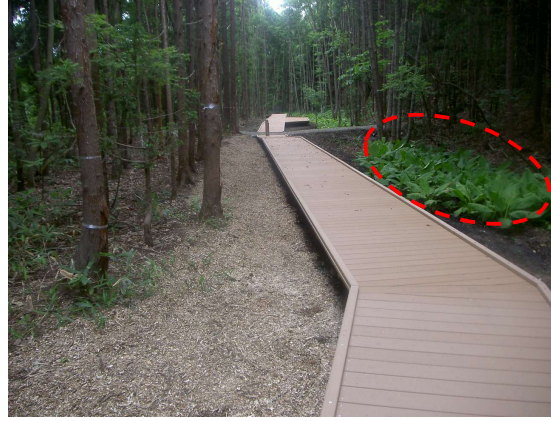
# 大規模公共事業 事後評価調査 (付表)

事業名	広域公園整備事業	補助・単独	担当部課名	県土整備部 都市計画課	
路線名等	岩手県立御所湖広域公園	地区名	岩手県雫石町西安庭地内ほか	市町村	盛岡市・雫石町

(ミズバショウの保全) → 自然環境に配慮し、必要最小限の散策路程度の整備を実施。



整備前(矢櫃地区水辺園地)



整備後(矢櫃地区水辺園地)

**御所湖広域公園の主な整備内容**

**A 乗り物広場** (公園管理事務所) 乗車・乗船の利便性を高めるため、公園管理事務所内に乗り物広場を整備しました。

**B ファミリーランド** 家族で楽しめるような公園づくりを目指し、大規模なファミリーランドを整備しました。

**C 御所湖自然環境地 5000坪** 自然環境を保全し、自然観察の場として整備しました。

**D 町場地区園地** 町場地区の活性化を図るため、公園を整備しました。

**E 茨城県水辺の整備 17ヶ所** 茨城県の水辺を美しく保ち、自然環境を保全するため、17ヶ所を整備しました。

**F かんたんに自然観察できる自然環境地 20ヶ所** 自然観察の場として整備しました。

**G つなぎ温泉** 自然環境を保全し、温泉を楽しむための施設を整備しました。

**H さくら山** さくら山の整備を進め、自然環境を保全しました。

**I 茨城県水辺整備 40ヶ所** 茨城県の水辺を美しく保ち、自然環境を保全するため、40ヶ所を整備しました。

**J 野鳥観察地** 野鳥観察の場として整備しました。

**K 雫石湖自然環境地** 自然環境を保全し、自然観察の場として整備しました。

**L 雫石湖自然環境地** 自然環境を保全し、自然観察の場として整備しました。

**M 野鳥公園** 野鳥観察の場として整備しました。

**N 御所湖自然環境地** 自然環境を保全し、自然観察の場として整備しました。